

夢ある 農業 応援団!



株主の皆様へ

第97期

## 中間(第2四半期)報告書

2020年1月1日 ▶ 2020年6月30日



### CONTENTS

ごあいさつ	1
連結決算のポイント	3
地域別売上高の状況	5
新型コロナウイルス対策および その影響と今後の見通し	6
事業ハイライト	7
四半期連結財務諸表(要約)	9
会社の概要	10



井関農機株式会社



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた方々、また令和2年7月豪雨により被害を受けられた方々に謹んでお見舞い申し上げます。事態の収束、復旧に向けてご尽力いただいている皆様に、心より感謝申し上げます。

当社第97期中間期（第2四半期）の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

井関農機株式会社  
代表取締役社長執行役員

富安 司郎

## 事業を通じて社会課題を解決するとともに、 企業価値向上を図ってまいります。

私たち井関グループは、創業者井関邦三郎の「農家を過酷な労働から解放したい」という熱い想いを原点に、1926年の会社創立以来、農業機械の総合専門メーカーとしてわが国農業の近代化に貢献してきました。その間、一貫して農業の効率化、省力化を追求し続け、その過程のなかで画期的な農業機械を他に先駆けて開発し、市場に供給してきました。

世界人口の増加や食糧問題、食料自給率や国土保全、地球環境問題などを考えますと、農業の果たす役割は大きく、農業機械メーカーの社会的使命はますます重要になると考えております。

今後も、「お客さまに喜ばれる製品の供給」を通して、わが国ならびに世界の農業に貢献することを経営の基本理念として活動を続けてまいります。

# 豊かで、持続可能な社会の実現へ貢献していく

## 事業活動を通じた価値創造で、SDGsの実現にも貢献

世界では、2050年の総人口は97億人になると予想され、食料生産を大幅に引上げる必要があります。しかしながら、世界的に見ると、アフリカやアジアなどの途上国では、機械化の遅れや灌漑の未整備も多く、生産性向上や機械化による効率的な食料生産が求められています。一方、日本や韓国、台湾などにおいては、農業人口の減少や高齢化、農業の大規模化などが進み、農業機械の大型化や先端技術の活用などによるさらなる省力化・効率化に加え、高付加価値化や環境への配慮などが求められています。井関グループは、地域毎に異なる課題や多様化するニーズに対応した商品の開発・提供に加え、営農提案・サポートなどにより“持続可能な農業の促進、強靱な農業の実践”に貢献してまいります。また、欧米市場を中心に提供して

いる乗用芝刈機やコンパクトトラクタは、公園や緑地の整備や道路清掃、除雪といった景観整備に活用されており、“景観整備を通じたまちづくり”に貢献し地域の人々の生活を支えています。井関グループでは、事業活動を通じて、社会的価値と経済的価値を同時に創出することで、「豊かで、持続可能な社会の実現へ貢献すること」を目指しております。こうした当社の事業活動は、2030年をゴールとして国連サミットで策定された「持続可能な開発目標 (SDGs)」への貢献につながるものと考えております。井関グループが取り組むべき社会課題と経営戦略を結びつけた重要課題を特定しています。“持続可能な農業の促進、強靱な農業の実践”では目標2「飢餓をゼロに」や目標1「貧困をなくそう」の実現に、“景観整備を通じたまちづくり”では目標11「住み続けられるまちづくりを」の実現に貢献できると考えております。



SDGsへの取り組みはこちら

<https://www.iseki.co.jp/csr/sdgs/>



## 第97期中間期(第2四半期)の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響から、政府の緊急事態宣言等による経済活動の自粛など、厳しい状況が続きました。海外についても、同感染症拡大に伴い各国政府等による営業規制を含むロックダウンが広がるなど経済活動の抑制を受け、世界経済全体で総じて厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社グループは、国内においては新商品の投入や顧客対応の充実など農業構造変化への対応強化、海外においては主力市場である北米、欧州、中国、アセアンでの販売強化に努めてまいりましたが、当社グループの連結経営成績は以下のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比5,307百万円減少し、72,245百万円(前年同期比6.8%減少)となりました。国内においては、補修用部品および修理整備等のメンテ収入が堅調に推移したほか大型物件の完成のあった施設工事が増加となった一方、消費増税後の不透明な需要環境に加え新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う展示会の中止など営業活動の自粛等により農機製品などが減少し、国内売上高は前年同期比2,718百万円減少の57,249百万円(前年同期比4.5%減少)となりました。海外においては、中国向けの田植機半製品や韓国向けのトラクタ・コンバインの出荷が伸びた一方、北米向けは一部商品に搭載の仕入エンジン入荷遅れが発生したことなどからトラクタ出荷が減少、欧州では為替影響に加え新型コロナウイルス感染症対策として現地代理店店舗が一時閉鎖されたことから出荷調整を行い減少、アセアンはインドネシア向けトラクタの出荷減少などにより、海外売上高は前年同期比2,588百万円減少の14,995百万円(前年同期比14.7%減少)となりました。

営業利益は、販管費の削減があったものの減収による粗利益減少に加え仕入エンジン入荷遅れに伴

う部品在庫の評価損の計上等により、前年同期比367百万円減少の1,270百万円（前年同期比22.4%減少）となりました。経常利益は、為替差損や持分法投資損失の縮小等により前年同期比218百万円増加の1,068百万円（前年同期比25.8%増加）、税金等調整前四半期純利益は、中国の持分法適用関連会社の出資比率減少に伴う持分変動利益の計上等により前年同期比815百万円増加の1,607百万円（前年同期比103.0%増加）となりました。親会社株主に帰属する当第2四半期純利益は、前年同期比314百万円増加の979百万円（前年同期比47.3%増加）となりました。

### 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

**営業利益**：販管費を削減するも減収による粗利益減少、仕入エンジン入荷遅れに伴う部品在庫の評価損の計上等により減益。

**経常利益**：為替差損や持分法投資損失の縮小等により増益。

**親会社株主に帰属する四半期純利益**：経常増益に伴い、増益。

**売上高** **72,245**百万円  
前年同期比 5,307百万円(6.8%)減

▶ **うち国内** **57,249**百万円  
前年同期比 2,718百万円(4.5%)減

▶ **うち海外** **14,995**百万円  
前年同期比 2,588百万円(14.7%)減

**営業利益** **1,270**百万円  
前年同期比 367百万円(22.4%)減

**経常利益** **1,068**百万円  
前年同期比 218百万円(25.8%)増

**親会社株主に帰属する四半期純利益** **979**百万円  
前年同期比 314百万円(47.3%)増

## 地域別売上高（連結）

（億円）

地域	当期売上高	増減額
日本	572	△27
海外	北米	△17
	欧州	△8
	中国	3
	アセアン	△4
	その他地域	3
	製品計	△23
	部品その他	△3
小計	△26	
合計	722	△53

### 【国内】

補修用部品および修理整備等のメンテ収入が堅調に推移したほか大型物件の完成のあった施設工事が増加したが、消費増税後の不透明な需要環境に加え新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う営業活動の自粛等で農機製品などが減少したことにより減収。

### 【海外】

中国向け田植機半製品や韓国向けトラクタ・コンバインの出荷が伸びるも、北米向けはトラクタ出荷が減少、欧州では為替影響に加え新型コロナウイルス感染症拡大の影響で出荷調整を行い減少、アセアンはインドネシア向けトラクタの出荷減少などにより減収。

### 国内

（増減率）

整地用機械 **134** 億円 (△ 11.6%)

栽培用機械 **55** 億円 (△ 10.4%)

収穫調製用機械 **43** 億円 (△ 19.8%)

作業機・補修用部品・修理収入 **206** 億円 (△ 4.0%)

その他農業関連 **134** 億円 (13.6%)

合計 **572** 億円 (△ 4.5%)

### 海外

（増減率）

整地用機械 **109** 億円 (△ 19.7%)

栽培用機械 **13** 億円 (27.4%)

収穫調製用機械 **9** 億円 (19.1%)

作業機・補修用部品 **14** 億円 (△ 9.1%)

その他農業関連 **6** 億円 (△ 26.2%)

合計 **150** 億円 (△ 14.7%)

整地用機械 ……トラクタ、耕うん機、乗用管理機、芝刈機等

栽培用機械 ……田植機、野菜移植機

収穫調製用機械 ……コンバイン、バインダ、ハーベスタ、  
籾すり機、乾燥機、野菜収穫調製機等

1. 新型コロナウイルス対策として、当社は政府や自治体の方針に沿って、お客さま、地域の皆さまおよび従業員の健康と安全を最優先に考慮し、対応しております。

①お客さまへの対応

感染防止対策を図りながら、販売・サービス活動を継続

- ・展示会「ISEKIバーチャル実演会」を公開
- ・WEBを通じた動画等の配信、SNSを活用した宣伝

②従業員への対応

- ・在宅勤務や時差出勤、フレックス勤務の弾力運用、業務スペース分散等による職場密度の低減
- ・国内外の出張の制限、集合研修の延期もしくは中止
- ・海外の工場やセールスに対し、生産・技術指導をリモートで実施

## 2. 地域別影響

地域	影響概要
国内	展示会や実演会の中止など営業活動自粛により減収となるも、下期は拠点展示会なども段階的に再開し、影響は徐々に縮小を見込む。
北米	新型コロナウイルス影響は第1四半期に一部あるも、個人向け小型トラクタ需要の増加もあり期中を通して感染症の影響は軽微に推移すると見込む。
欧州	3～5月はロックダウンを受けた現地代理店店舗の一時閉鎖等により売上が伸びなかったが、下期は一般消費者向けを中心に回復の兆しを見込む。
中国	第1四半期は外出規制により営業活動が制限されるも、請負業者の移動制限の影響で省内での農機需要が喚起され、田植機が堅調に推移する。下期も政府の穀物生産推進を受けた農機需要増を見込む。
アセアン	タイは、昨年末からの干ばつとコロナ禍も相まって、需要の回復が遅れる。インドネシアは、政府の機械化推進予算がコロナの影響で縮小される可能性もある。
東アジア	新型コロナウイルス影響が軽微な韓国、台湾が期中を通して好調に推移すると見込む。

3. 当社では、来期の前半には同感染症は収束する仮定のもと、国内外で経済活動の再開が進んでいることを踏まえ、当期の第3四半期以降当社グループの販売は徐々に回復するものと想定しております。



## 1 2020年度下期新商品のご紹介（2020年6月）

当社は、6月10日に2020年度下期の新商品を発表しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から発表会の開催に代えて、YouTubeを通じた動画配信で新商品を発表しました。社長がAll Japanシリーズに加わった新型8条植え田植機に乗って登場。次いで担当者がデモンストレーションで紹介し、新機能や操作性をアピールしています。



新型8条植え田植機に乗って登場する社長の富安

田植機のほか、「スマート追肥システム」を搭載した乗用管理機、内製エンジンを搭載したトラクタ、新型野菜移植機等をご案内しています。



内製エンジンを搭載した新型トラクタ



モデルチェンジした野菜移植機



新商品動画はこちら！（井関農機公式YouTube）

<https://youtu.be/0NZTZdvPpTA>







日本農業の機械化黎明期の1971年から日本の田植えに貢献し、田植機のスタンダードを作り上げたサセキ田植機「さなえ」は、水稲生産者の皆さまにご愛顧いただき、おかげさまで誕生50年を迎えました。

当社は、今後も革新的な技術で日本の、そして、世界の田植の省力化に貢献してまいります。

## さなえ誕生50年記念モデル

井関農機95周年、さなえ誕生50年記念モデルとして、新型8条植え田植機を発表しました。



さなえ誕生50年特設サイトはこちら

<https://www.iseki.co.jp/products/taueki/sanae50/>



## 施設見学会の中止のお知らせ

当社は2018年度より、株主の皆さまに当社の事業内容へのご理解を一層深めていただきますよう施設見学会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を踏まえ、今年度はやむなく中止することいたしました。

何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

# 四半期連結財務諸表 (要約)

## 四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当第2四半期末 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>	
流動資産	98,685
現金及び預金	7,616
受取手形及び売掛金	30,224
商品及び製品	48,446
仕掛品	7,086
原材料及び貯蔵品	1,101
その他	4,307
貸倒引当金	△96
固定資産	108,292
有形固定資産	97,417
無形固定資産	1,365
投資その他の資産	9,509
資産合計	206,978
<b>負債の部</b>	
流動負債	102,075
支払手形及び買掛金	23,748
電子記録債務	17,594
短期借入金	37,125
1年内返済予定の長期借入金	12,333
その他	11,274
固定負債	35,917
長期借入金	19,142
その他	16,774
負債合計	137,992
<b>純資産の部</b>	
株主資本	53,181
資本金	23,344
資本剰余金	13,449
利益剰余金	17,327
自己株式	△940
その他の包括利益累計額	14,066
その他有価証券評価差額金	△78
繰延ヘッジ損益	20
土地再評価差額金	12,622
為替換算調整勘定	513
退職給付に係る調整累計額	989
新株予約権	37
非支配株主持分	1,699
純資産合計	68,985
負債純資産合計	206,978

## 四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	当第2四半期 (2020年1月1日 ～2020年6月30日)
売上高	72,245
売上原価	50,801
売上総利益	21,444
販売費及び一般管理費	20,173
営業利益	1,270
営業外収益	578
営業外費用	780
経常利益	1,068
特別利益	666
特別損失	128
税金等調整前四半期純利益	1,607
法人税等	617
四半期純利益	989
非支配株主に帰属する四半期純利益	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	979

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当第2四半期 (2020年1月1日 ～2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,620
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,041
現金及び現金同等物の期首残高	8,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,327

## ○ 会社概要

社名	井関農機株式会社
本社	愛媛県松山市馬木町700番地
本社事務所	東京都荒川区西日暮里5丁目3番14号
創立	大正15年8月
資本金	233億4,474万円
従業員数(連結)	5,557名
事業内容	当社はつぎの製品の製造および販売を主要な事業内容としております。
整地用機械	トラクタ、耕うん機、乗用管理機、芝刈機
栽培用機械	田植機、野菜移植機
収穫用機械	コンバイン、バインダ、ハーベスタ
調製用機械	籾すり機、乾燥機、精米機、計量選別機、野菜収穫調製機
その他	作業機、補修用部品、農業用施設等

## ○ 役員

	氏名	役付
取締役	菊池 昭夫	代表取締役 会長執行役員
	富安 司郎	代表取締役 社長執行役員
	新 真司	取締役 常務執行役員
	金山 隆文	取締役 常務執行役員
	縄田 幸夫	取締役 常務執行役員
	深見 雅之	取締役 常務執行役員
	小田切 元	取締役 常務執行役員
	神野 修一	取締役 執行役員
	谷 一哉	取締役 執行役員
	岩崎 淳	取締役
監査役	田中 省二	取締役
	木元 誠剛	常勤監査役
	川野 芳樹	常勤監査役
	町田 正人	常勤監査役
	元川 靖英	常勤監査役
平 真美	監査役	

## ○ 主要な事業所

### ① 当社

名称	所在地
本社	愛媛県松山市
本社事務所	東京都荒川区
砥部事業所	愛媛県伊予郡
熊本事業所	熊本県上益城郡
新潟事業所	新潟県三条市
つくばみらい事業所	茨城県つくばみらい市
茨城センター	茨城県稲敷郡
関西事業所(インプル)	滋賀県近江八幡市

### ② 子会社

名称	所在地
株式会社中セキ北海道	北海道岩見沢市
株式会社中セキ東北	宮城県岩沼市
株式会社中セキ関東甲信越	茨城県稲敷郡
群馬中セキ販売株式会社	群馬県前橋市
株式会社中セキ北陸	石川県金沢市
株式会社中セキ関西中部	愛知県安城市
三重中セキ販売株式会社	三重県津市
株式会社中セキ中四国	広島県東広島市
株式会社中セキ九州	熊本県上益城郡
株式会社ISEKIアグリ	東京都荒川区
ISEKI France S.A.S.	フランスピュイドーム県オービエール市
ISEKI (THAILAND) CO.,LTD.	タイ チョンブリー県
株式会社井関松山製造所	愛媛県松山市
株式会社井関熊本製造所	熊本県上益城郡
株式会社井関新潟製造所	新潟県三条市
PT. ISEKI INDONESIA	インドネシア 東ジャワ州 パスルワン県
株式会社井関松山ファクトリー	愛媛県松山市
株式会社井関重信製作所	愛媛県東温市
北日本床土株式会社	北海道上川郡
株式会社井関物流	愛媛県松山市
株式会社ISEKIトータルライフサービス	東京都荒川区

# 株式の状況 (2020年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 69,000,000株
- 発行済株式総数 22,606,920株  
(自己株式378,073株を除く)
- 単元株式数 100株
- 株主数 19,055名
- 大株主 (上位10名)

大株主の氏名	所有株数(千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,101
株式会社みずほ銀行	1,070
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,010
農林中央金庫	868
三井住友信託銀行株式会社	800
キセキ株式保有会	725
株式会社伊予銀行	580
井関営業・販社グループ社員持株会	532
損害保険ジャパン株式会社	434
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	410

## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年12月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063  
(電話照会先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の  
の本店および全国各支店で行っております。

### ● 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



井関グループは、

環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を  
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。

「賢い選択」の提案として「エコ商品」など  
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

